

<「知るっば!久留米」 令和2年10月22日(木) 12:30~放送分>

城島瓦 ～第4回～ 城島瓦の特徴

<ゲスト： 渋田瓦工場 渋田良一さん>

坂本 MC (以下「坂本」)

「知るっば!久留米」ナビゲーターの坂本豊信です。

10月は、久留米の伝統産業であります『城島瓦』をテーマにお送りしていきます。

ゲストは、この方です。

ゲスト: 渋田良一さん (以下「渋田」)

城島町の渋田瓦工場、代表の渋田良一です。

よろしくお願いします。

坂本 『城島瓦』の第4回は、前回に引き続き『城島瓦の特徴』です。

瓦といえば、全国的には、愛知県の三州瓦、島根県の石州瓦、兵庫県の淡路瓦などが有名ですが、その中で城島瓦の特徴について教えてください。

渋田 そうですね。城島瓦、いぶし瓦の特徴は、昔から九州では台風が多かったと聞いていますが、その中でほかの産地より「深切(ふかぎり)」といひまして、風雨や台風に強いように、重なりが多い瓦を作っております。まさに、昔の人の知恵ですね。

坂本 余計に重なっている、被りが多い瓦なんですね。

そうすると、やっぱり強風が当たっても飛びにくいということなんですかね？

渋田 特に昔は、土を使って瓦を葺いとった状態でありまして、先人の知恵には感謝しております。今はもう被りが少なくても、全釘を打ってみたりするんですけど、昔はコンクリートで固めてみたり漆喰で固めてみたりしていました。昔はちょっと工法が簡略というか、それなりに工夫はしてあったんですけど、昔のやり方では熊本城みたいに地震で瓦が落ちるみたいなこともあります。お城なんかは文化財なので、どうしても昔の工法を再現していたから熊本城は瓦が落ちたという話があります。

坂本 文化財は、当時の作り方で再現するのが大前提でしょうからね。

重なりが多いというのが、城島瓦の特徴のひとつだということですね。

瓦の色なんかは、瓦の産地によっても違いがあると思いますけど、それは原料で違ってくるのか、それとも作り方で違うのでしょうか？

渋田 色もいろいろありまして、いぶし瓦は素肌美人といいますが、本来の自然素材みたいなものです。それに対して、例えば赤瓦とか青瓦とか、銀黒などいろんな色があるのですが、そういうのはうわぐすり、要するに釉薬（ゆうやく）をかけてあって、トンネル窯で流れ作業でできる瓦なんですよ。

坂本 それって焼き物ですよ。

渋田 表面を茶碗みたいに焼くんですよ。

坂本 色は製法によって変わってくるんですね？

渋田 そうですね。山口あたりは、赤い瓦がたくさんあると思います。あれも、「塩焼き瓦」と申しまして、その地域独特の焼き方をしているんですよ。

坂本 確かに列車から見ると屋根という屋根が全部赤いですもんね、あのエリアに行くと！

渋田 各地の個性があって、そこらへんはいいことじゃなかろうかと思っております。

坂本 城島瓦はあちこちで使われていると思いますが、有名どころで使われているのはありますか？

渋田 このあたりにはたくさん瓦屋がありましたので、昔からほとんどが城島瓦だったんですけど、特に長崎方面なんかは、有明海を渡ったら意外と近いんですよ。なので、平戸城や島原城などいろんなところに使われております。久留米で申しますと、梅林寺、有馬さんの菩提寺ですね。あそこにも大量の城島瓦が使われております。新聞記事で見たのですが、大刀洗町の今村カトリック教会という古い建物がありますが、それなんか城島瓦だったと聞いております。その他にも、長崎の観光地なんかだったら、グラバー邸とかですね。以前、長崎の教育委員会から電話がありましたが、出島では家の軒下の溝に瓦を使ってあるんですけど、それが城島瓦だったよみたいな電話もかかってきました。思わぬところに城島瓦が使われていたんだなど。

坂本 幅広く使われているのは、運び出すのに筑後川の水運の恩恵があったということなんですよ。

渋田 そうですね。だから、昔は瓦製品置き場が、全て筑後川の方を向いとったんですよ。

坂本 城島瓦は全国に出荷されているということですが、旅先の神社仏閣などで、これは城島瓦だと見分

けられたら楽しいと思うのですが、素人でも判断できるような特徴ってありますか？

渋田 私はわかるんですけど・・・、建設関係の方でもなかなか難しいんじゃないかなろうかと思います。
私たちが屋根瓦を補修する際は、その瓦を1枚持ってきて、そこから瓦の産地がわかり、それによってサイズが決まってくるからね。
例えば、京都あたりだったら城島瓦のようないぶし瓦を使っている、昔のまちづくりだったらいぶし瓦が使われている、そういう感覚で瓦を見ていただければと思っております。

坂本 瓦は、なかなか奥が深いですね。
渋田さん、今週も興味深いお話をありがとうございました。
城島瓦に関する質問やお問い合わせは、三瀨総合支所2階久留米南部商工会内にあります城島瓦協同組合までお願いします。
城島瓦協同組合の電話番号は、0942-64-3649です。
次回は最新の城島瓦をテーマにお届けします。
渋田良一さん、来週もよろしく申し上げます。